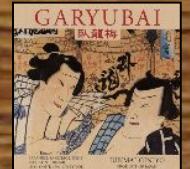
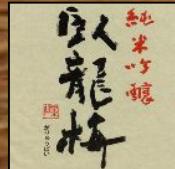


『臣人龍梅』 蔵便り

平成二十五年葉月



拝啓 このところ列島各地で真夏日が続いておりますが、皆様お元気でお過しでしょうか。



6月末、富士山がユネスコの世界遺産に認定されたことは皆さんご存知だと思います。「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」というのが正式登録名で、日本国内では13番目の文化遺産、自然遺産も含めると17番目だそうです。富士山自体が世界遺産として認められることはまず間違いないところだったと思います。嬉しかったのは、清水の**三保の松原**が当初の予想を覆して25番目の構成資産として認められたことで、地元ではこの快挙に沸き立っております。三保の海岸から眺める姿がもっともポピュラーな富士



山像だとは思いますが、45キロも離れていると言われば、世界遺産から除外されても仕方ないような気もしております。このニュースが報じられた後、三保の松原には観光客が押し寄せ、お土産屋さんも大繁盛、早くも駐車場の増設が検討されております。伝説の天女の羽衣が掛けられたという**羽衣の松**、日本の能、「羽衣」に憧れてこれを題材にした作品を発表したフランスの舞踏家、エレーヌ・ジュグラリスを偲んで建立された**エレーヌの碑**、何よりも波の打ち寄せる海岸線の彼方に雪を抱いてそびえる富士山の姿、見所いっぱいの観光スポットです。おりしも、今年も10月11日(金)に恒例の酒イベント、**駿河路酒メッセ**を開催する予定で、これから入場券の発売を開始いたします。**駿河路酒メッセ**への参加を兼ねて清水にお越しになるというは如何でしょう。その頃になると空も晴れ渡っていつそう美しい富士山が拝めます。

富士山にまつわる話題をもうひとつ。山田錦を品種改良し県知事が名付け親になって誕生した静岡県独自の酒造好適米、**誉富士**。弊社では真っ先に誉富士で仕込んだ純米吟醸酒をお届けして大好評をいただいております。数年前から、静岡県、JA、静岡県酒造組合が一体となってこのお米の普及推進に取り組んできました。酒造組合では、その普及推進活動の一環として**天空の誉富士**というプロジェクトをスタートしました。これは、誉富士で仕込んだお酒を富士山頂まで運び、低温で気圧も低く空気の澄んだ環境下で酒上がりするのを試してみようというものです。一口で運ぶと言っても担いで上がるのでは僅かな量しか持って行けませんし、ブルドーザーやヘリコプターを使うとなると莫大な経費が掛かり、とんでもなく高価なお酒になってしまいます。問題点も多々残されておりますが、夢のあるプロジェクトだと思いませんか？皆様、「**臥龍梅 天空の誉富士**」を味わう日をお楽しみに。



さて、今月は先月に引き続き、**五百万石 55%の純米吟醸の生酒**をお奨めいたします。ドライな飲み口が暑気払いにうってつけです。また、この時期の生酒の出荷は貴重品です。数量限定ですのでお早めにご注文ください。

残暑きびしきおりから、お体には十分お気をつけられますよう。

平成25年8月吉日

敬具
鈴木 克昌